

タイの現状と今後の見通し

ご参考資料 2016年10月17日

タイでは10月に入り、世界的な企業業績の悪化懸念に加え、国王の健康状態が問題とされ、株式市場は弱含みの展開となっています。13日(木)の午後1時に国王の死去が発表されましたが、国王は暫定政権と2大政党の実質的な仲介役でもあったため、短期的にタイの株式市場や為替の変動率が高まる可能性があります。今後の見通しについてご説明します。

暫定政権は経済押し上げの努力を継続： ただし、2017年の総選挙の実施時期は不透明に

国王の死去が、娯楽活動の減少、葬儀への参加など国内消費に影響する可能性もあり、今後の経済動向を注視する必要があります。また、政治的には、政府が1年間の服喪期間を設けるため、来年予定されている民政移管の総選挙の実施時期が遅れるリスクがあります。株式市場や為替市場については、今後は心理的に過剰反応しやすいことも想定されます。

タイでは、2014年5月のインラック政権に対するクーデター宣言以降、軍主導の暫定政権による統治が続いています。暫定政権は、ソクラーン(旧正月)中の所得税減税、付加価値税の税率7%(法律は10%)の適用期間延長(2017年9月まで)など、経済刺激策の導入や政府支出を拡大することで、経済重視の姿勢を鮮明に打ち出しています。

こうした施策の効果もあって、タイの4-6月期の実質国内総生産(GDP)成長率は前年同期比+3.5%と市場予想を上回りました。今後、消費センチメントの悪化等で景気が下振れしたとしても、暫定政権による新たな追加刺激策が発表されると見込んでいます。

当社グループにおける今後の見通し： 金融市場の短期的な変動率が高まる可能性 長期的な企業業績の見通しに変更なし

タイ株式市場を代表するSET50指数は、10月に入り国王の健康状態の悪化が伝えられると下落しましたが、14日には反発に転じています。一方、タイバーツは同期間、対円、対米ドルとも落ち着いた動きとなっています。

当社グループでは、国王の死去によりタイの経済ファンダメンタルズに大きな変化はないと見込んでいます。原油価格の低位安定を背景に、タイの消費者物価は落ち着いた動きとなっています。

ただし、米国の年内利上げ懸念、11月の米大統領選挙、中国の景気減速などが株式市場の足かせとなっており、短期的に市場の変動率が高まる可能性があります。

国際通貨基金(IMF)によるタイの2016年の実質GDP成長率予想は+3.2%となっています。当社グループでは、この予想は達成可能な水準との見方に変化なく、企業業績への影響は限定的とみています。

タイ 株式市場の推移

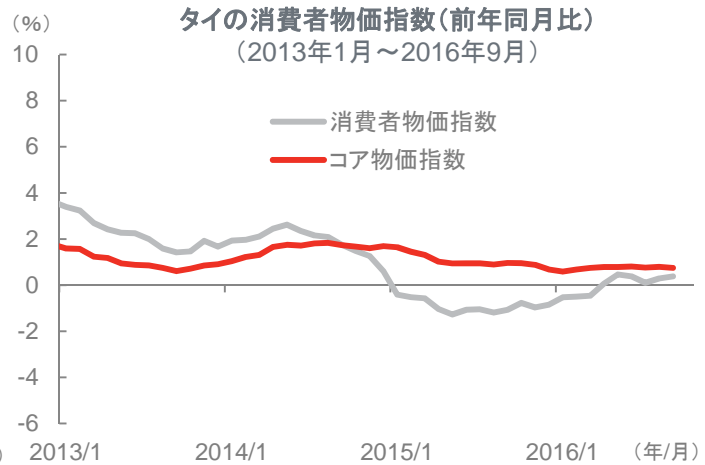
(2015年10月1日～2016年10月14日)



出所: Bloomberg L.P. のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。
SET50指数を使用。

タイの消費者物価指数(前年同月比)

(2013年1月～2016年9月)



出所: Bloomberg L.P. のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。
コア物価指数は、生鮮果物などの生鮮食品とエネルギー価格を除く。

※当資料はイーストスプリング・インベストメンツ株式会社が情報提供を目的として作成したものであり、特定の金融商品等の勧誘・販売を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料でもありません。※当資料は信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしも正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料には、現在の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、事前の通知なくこれらを変更したり修正したりすることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来を保証するものではありません。

英国ブルーデンシャル社はイーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルーデンシャル・ファイナンシャル社とは関係がありません。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第379号/加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会